

《水素ステーションの整備促進について》

《水素エネルギーの優位性》

様々なエネルギー源から製造可能

《様々な形態での利活用》

家庭用燃料電池

産業用燃料電池

燃料電池自動車

水素エネルギーの貯蔵・運搬

水素

現状

将来

石油、天然ガス等化石燃料

触媒等を用いて改質

製鉄所、化学工場等からの副生物

副生ガスを精製

自然エネルギー

発電した電気を用いて水を電気分解



【都市部においては、適地の確保が困難】

- 既存のガソリンスタンドに併設することが合理的であるが、都市部のガソリンスタンドは敷地に余裕がない。
- 新設する場合は、土地の価格が高いため、事業の採算性が確保できない。

《適地の要件》

- ①面積
  - ・水素のみのステーションを新設 (1,600㎡程度)
  - ・既存のガソリンスタンドに併設 (650㎡程度)
- ②位置
  - ・幹線道路の沿線など、一定の交通量がある。
  - ・学校、病院等保安物件に隣接していない。
- ③用途地域
  - ・水素貯蔵ができない「第1種、第2種低層住居専用地域」「第1種中高層住居専用地域」でないこと。(できれば、水素貯蔵量の制限を受けない「準工業地域」又は「工業地域」)



ガソリンスタンド一体型水素ステーション (海老名中央水素ステーションのイメージ)

水素ステーションの整備が不可欠。

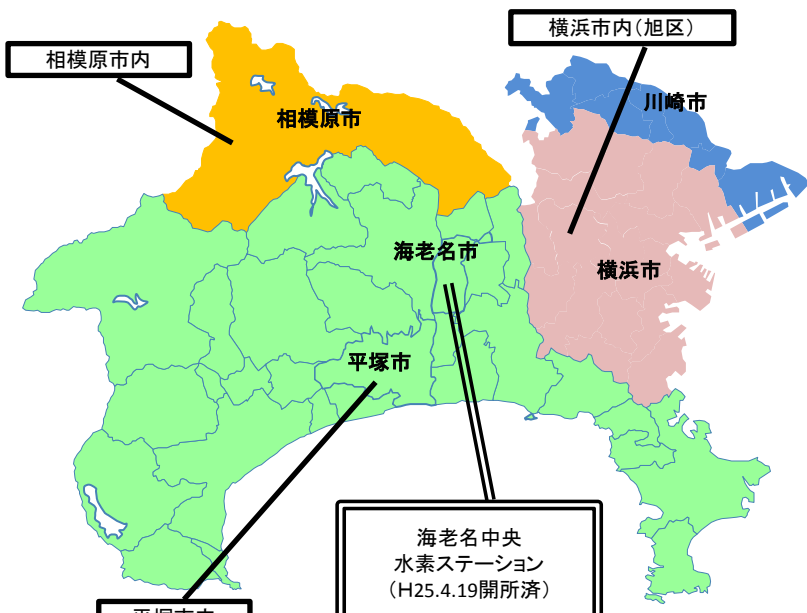
4大都市圏（首都圏、中京、関西、北部九州）を中心に、100か所程度の水素ステーションを整備。

首都圏には40か所程度



平成25年度燃料電池自動車水素供給設備設置補助事業（経済産業省）対象19か所（うち県内は3か所）

都道府県	市・区	事業者
神奈川県	横浜市	J X 日 鈺 日 石
神奈川県	相模原市	J X 日 鈺 日 石
神奈川県	平塚市	J X 日 鈺 日 石
埼玉県	さいたま市	東京ガス
埼玉県	春日部市	J X 日 鈺 日 石
埼玉県	戸田市	岩谷産業
東京都	練馬区	東京ガス
東京都	杉並区	J X 日 鈺 日 石
東京都	町田市	J X 日 鈺 日 石
東京都	八王子市	J X 日 鈺 日 石
千葉県	千葉市	J X 日 鈺 日 石
愛知県	名古屋市	J X 日 鈺 日 石
愛知県	名古屋市	豊田通商等
愛知県	豊田市	豊田通商等
愛知県	刈谷市	岩谷産業
愛知県	岡崎市	岩谷ガス
愛知県	岡崎市	J X 日 鈺 日 石
兵庫県	尼崎市	岩谷産業
福岡県	北九州市	岩谷産業



首都圏における整備目標40か所のうち、10か所を県内に！

《提案》

○適地の確保

広域的な視点から計画的に水素ステーションの整備を進めるため、4県市が連携して、公有地を含め適地を調査し、整備促進計画を策定して関係事業者へ整備を働きかける。

○普及啓発の推進

水素ステーションの安全性等について、広く周知を行い理解していただくため、4県市が連携して普及啓発に取り組む。

《協議の場》「かながわ次世代自動車普及推進協議会」（平成25年8月30日設置）

